作成日：１９９６年０８月２４日
改訂日：２０１０年１０月０１日

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製 品 名 ：**ショーボンド フィンガーシールプライマー**
会 社 名 ：ショーボンド化学株式会社
住　　所 ：埼玉県川越市芳野台2－8－10
担当部門：品質保証課
電話番号：049(225)5611　　ＦＡＸ：049(225)5616
緊急連絡先：品質保証課　　電話番号：049(225)5611
整理番号：フィンガーシールプライマー－03

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分3
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分5
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分5
	急性毒性（吸入：粉塵 ミスト）	区分5
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1B
	標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分1
	標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分1
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：
引火性の高い液体および蒸気
飲み込むと有害のおそれ
吸入すると有害のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激

吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害（肝臓、呼吸器、腎臓、中枢神経系）
長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害（呼吸器、神経系）
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に有害

注意書き

予防策：　使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
容器を密閉しておくこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
換気が充分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

対　応：　火災の場合には、消火に粉末／炭酸ガス／泡消火器を使用すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクト
レンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。
多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。
下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。
目に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合、
気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または
暴露の懸念がある場合。
漏出物は回収すること。

保　管：　容器を密閉し、涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

廃　棄：　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務
委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質･混合物の区別:　混合物

成分	化審法	CAS No.	含有率（%）	ＰＲＴＲ法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ｳﾚﾀﾝﾌﾟﾚﾎﾟﾘﾏｰ	7-820	登録済み	30～40%	該当しない	該当しない
ﾒﾁﾚﾝﾋﾞｽ(4,1-ﾌｪﾆﾚﾝ)=ｼﾞｲｿｼｱﾈｰﾄ (4, 4'-MDI)	4-118	101-68-8	1%未満	該当しない	該当する
ﾎﾟﾘﾒﾁﾚﾝﾎﾟﾘﾌｪﾆﾙﾎﾟﾘｲｿｼｱﾈｰﾄ (ﾎﾟﾘ-MDI)	7-872	9016-87-9	1%未満	該当しない	該当しない
ｷｼﾚﾝ	3-3	1330-20-7	20～30%	第1種 No.80	該当する
ｴﾁﾚﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	3-28	100-41-4	20～30%	第1種 No.40	該当する
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ (酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ)	2-740	111-15-9	1～5%	第1種 No.133	該当する

4. 応急処置

目に入った場合:　直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:　布で素早く拭き取り、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。

吸入した場合:　新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の診断を受ける。
必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

飲み込んだ場合:　水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。
直ちに医師の診断を受ける。
被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護:　救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤:　粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。

使ってはならない消火剤:　消火に棒状水を用いてはならない。

特有の危険有害性:　燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、
消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法:　火元の燃焼源を絶ち、適切な消化剤を使用して消火する。消火作業は、
可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に避難させる。
周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、
製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護:　消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、
消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用して煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に待避させる。必要に応じて換気を確保する。

環境に対する注意事項:　流出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法:　少量の場合、吸着剤(土･砂･ウェス等)で吸着させて取り除いた後、
残りのウェス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから
ドラム等に回収する。必要に応じて中和処理を行う。
[中和剤の例] 水/炭酸ﾅﾄﾘｳﾑ/液体洗剤=90-95/5-10/0.2-5(重量比)

二次災害の防止策:　付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消化剤を準備する。
床を流れた状態で放置すると滑り易く、ｽﾘｯﾌﾟ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ：

技術的対策: 取扱場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項: 火気厳禁。

安全な取扱い注意事項: 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保 管 ：

保管条件: 屋内の通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
火気厳禁。高温に注意。窒素シールをして保管する。

容器包装材料: 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

許容濃度:

管理濃度:	キシレン:		50ppm
	酢酸2-エトキシエチル:		5ppm
許容濃度:	4, 4'-MDI	ACGIH(TWA):	0.005ppm
	キシレン	ACGIH(TWA):	100pm
	酢酸2-エトキシエチル	ACGIH(TWA):	5ppm

保護具:

呼吸器の保護具: 必要により有機溶剤用防毒マスク等を使用する。

手の保護具: 不浸透性(対薬品、対油、対溶剤)保護手袋。

目の保護具: 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)。

皮膚及び身体の保護具: 静電気防止加工長袖作業衣等。

適切な衛生対策: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等:	液状
色 :	茶褐色
臭い:	溶剤臭あり
pH:	データなし
密度:	0.98g/cm3
融点:	データなし
沸点:	140℃ (キシレン)
引火点:	24℃
自然発火性:	データなし
燃焼または爆発範囲:	データなし
蒸気密度:	データなし
溶解性:	水に不溶
オクタノール／水分配係数:	データなし
分解温度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の取り扱い条件下で、光、熱、衝撃に対し安定である。

危険有害反応可能性 : 本製品は非常に活性が強く、水、アルコール、アミンなどの活性水素化合物と反応して発熱する。塩基性物質やある種の金属化合物の存在によって重合反応する。水と反応して二酸化炭素を発生する。

避けるべき条件: イソシアネートと反応する水等との接触を避けること。
混触危険物質: 銅、及びこれらの合金、アルミニウム、ポリ塩化ビニル。
危険有害な分解性生物: 窒素化合物。

11. 有害性情報

急性毒性　経口: 区分5
LD50:3459mg/kg　(計算値　未知成分39%含む)
経皮: 区分外
LD50:15536mg/kg　(未知成分56%含む)
吸入: 区分5
LC50:21mg/L　(計算値　未知成分44%含む)
皮膚腐食性･刺激性: 区分2
成分情報: 4,4'-MDI、ポリ-MDI、キシレン [区分2]
酢酸2-エトキシエチル [区分3]
眼に対する重篤な損傷･眼刺激性: 区分2A
成分情報: 4,4'-MDI、ポリ-MDI、キシレン [区分2A]
酢酸2-エトキシエチル [区分2B]
呼吸器感作性･皮膚感作性: 区分1
成分情報: 4,4'-MDI、ポリ-MDI [区分1]
生殖細胞変異原生: 分類できない
発がん性: 区分2
成分情報: 原料情報より
生殖毒性: 区分1B
成分情報: キシレン、酢酸2-エトキシエチル [区分1B]
特定標的臓器毒性(単回暴露): 区分1
成分情報: キシレン [区分1] (肝臓、呼吸器、腎臓、中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復暴露): 区分1
成分情報: キシレン [区分1] (呼吸器、神経系)
吸引性呼吸器有害性: 区分1
成分情報: 原料情報より

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性: 区分1　原料情報より
水性環境慢性有害性: 区分3
成分情報: キシレン [区分2]
移動性: データなし
生体蓄積性: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 焼却する場合、関連法規･法令を遵守する。
引火性物質 (キシレン等) を含むので注意する。
廃棄する場合、関連法規･法令 (廃棄物処理法、消防法等) を遵守する。
廃棄する場合、都道府県の許可を受けた専門業者に委託する。
汚染容器及び包装: 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
産業廃棄物 (廃液と廃プラスチック類の混合物) として許可を受けた
専門業者に委託し、関係法規･法令に遵守して適正に処理する。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒･落下･損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送:　消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
海上輸送:　船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送:　航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類:　クラス3
国連番号:　1866

15. 適用法令

消防法:　危険物第4類第2石油類(非水溶性) 危険等級III
毒物及び劇物取締法　:　該当なし
労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物):

ｷｼﾚﾝ	(政令番号136)
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ	(政令番号78)
ﾒﾁﾚﾝﾋﾞｽ(4,1-ﾌｪﾆﾚﾝ)=ｼﾞｲｿｼｱﾈｰﾄ	(政令番号599)

施行令第18条　名称を表示すべき有害物:　ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ
危険物:　引火性のもの
有機溶剤中毒予防規則: 第2種有機溶剤(ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ)
化学物質管理促進法:

ｷｼﾚﾝ	第1種指定化学物質(政令番号80)
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ	第1種指定化学物質(政令番号133)

化審法:　ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ　第2種監視化学物質(通し番号1042)

労働基準局長通達S51. 6. 23基発第477号
「エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について」[硬化剤との混合時]:
ｲｿｼｱﾈｰﾄ

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、
記載したものですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、
ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

1) 化学物質等安全データシート(MSDS) ー第1部:内容及び項目の順序
(JIS Z 7250:2005)
2) 製品安全データシートの作成指針　平成18年5月(社団法人　日本化学工業協会)
3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
4) 原材料／製品メーカMSDS
5) ウレタン原料工業会